

食事には気をつけています。

運動もしている。なのに

血糖値が、下がりきらない…

なぜ?



受け忘れていませんか? 「歯周病」ケア

その高血糖、歯周病のせいかも?

全身の健康までも脅かす歯周病。中でも糖尿病と歯周病は互いに悪化させあう関係にあります。食事制限や運動療法などを頑張っても、思うように結果が出ないときは、実は歯周病が原因かもしれません。



歯周病が血糖値を下がりにくくする

歯周病菌が出す炎症物質(TNF- α)は、歯周ポケットから血管に侵入し、インスリンの働きを妨げます。そのため、血糖値が下がりにくくなります。

インスリンとは…血液中の糖をエネルギーとしてからだに取り込み、血糖値を下げるホルモン。



糖尿病も歯周病を悪化させる

糖尿病のため免疫力が低下したり、代謝異常や毛細血管の障害などが起こります。そのため歯周病に感染しやすく、悪化しやすくなります。

改善のポイント

糖尿病と歯周病、治療は同時進行で!

糖尿病と歯周病は深く関係し合っているため、片方だけ治療しても思うように結果がでません。

治療の同時進行で、悪化のスパイラルを改善のスパイラルに変えていくことが大切です。

